



▲竹内和子さん

## 平成 30 年 秋の褒章

大森在住の竹内和子さんが「藍綬褒章<sup>らんじゆほうしょう</sup>」を受章されました。

竹内さんは大垣保護区安八支部で長年保護司として、平成8年から更生保護事業にも貢献されてきました。

受章にあたり、竹内さんは「社会復帰の力になれるよう、本人やご家族の手助けをしてきました。大変なこともありましたが、皆さまの支えもあり保護司として22年間使命を果たしてこれました。大変感謝しております」と述べられました。



▲名森野球創立40年を記念して4袋120kg寄贈いただきました

## おいしいもち米をどうぞ

11月22日(木)、名森野球スポーツ少年団から児童たちが田植えから収穫まで行ったもち米120kgが寄贈されました。

寄贈されたもち米は、各保育園・あすわ苑・ひかりの里へ送られました。

団員たちは、役場公室にて「毎日一生懸命練習しています」「強いチームです」「どの試合も最後まで全力で取り組んでいます」など少年団活動についても報告してくれました。



▲ポイントを教わりながら

## しめ縄づくり

11月25日(日)、安八町子ども会育成協議会による『しめ縄づくり講習会』が中央公民館で行われました。

当日は、町内の小学生や保護者ら66人が参加。初めてわらを編む参加者が多く、講師の尾崎満廣さんからのアドバイスを受けながら作製しました。難しい作業ですが、コツをつかむとみんなで教え合い、楽しみながら手づくりのしめ縄を完成させました。

願をかけた飾りと、子どもたちの思いが込められたしめ縄を各家庭で飾り、新しい年を迎えます。



▲縄ないのやり方を学ぶ児童たち

## わら細工体験

11月27日(火)、結小学校で大野幸雄さんら3人が、田植えや、稲刈りに続き先人の知恵や文化を知ってもらおうと5年生にわら細工の出前授業を行いました。

児童たちは昔ながらのわら編み機や、わら打ち体験をしたあと、大野さんが手作りした俵編み機や、わら草履の作業台を使っての作業に励みました。

2組のわらを手でこすり合わせてねじる縄ないも最後に体験し、「難しい」「大野さんと同じようにやっているつもりでも、できない」と声があがっていました。